

天理市教育委員会としては、今年度のコロナ対応について引き続き感染対策を徹底するとともに、教育活動の継続のために以下の市長メッセージのように対応してまいりますので、よろしくお願いいたします。

【市長メッセージ】

1. 学校及び児童施設の運営方針について

全国で感染の上昇傾向も見られる中、引き続き感染対策が重要ですが、オミクロン株の特性やワクチン3回目接種により医療体制がひっ迫していないことから、社会経済活動との両立を志向する傾向が政府等にも見られます。

第6波以降天理市では、市立小中学校において感染者が発生した場合に、保健所等による濃厚接触者の特定も困難となったこともあり、当該学級を登校停止とし、オンラインでの学習を継続しつつ、特に接触が濃厚であったと思われる児童生徒を除いては、預かりを併用してきました。

しかしながら、2年以上に及ぶ感染対策の中、教科だけでなく集団活動を通じた学びの機会が影響を受け続けていることも踏まえ、学級内での感染拡大が一定の可能性をもって懸念される場合を除き、できるだけ登校を継続する方針を採ることとします。

○具体的には、感染者判明が1名に留まり、他の児童生徒が無症状である場合には、校内での活動や交友関係から一定の接触歴があると判断される児童生徒を除き、登校を続けます（※ 感染者が発生したことは校内で情報共有した上、心配なご家庭については、従来どおりオンラインでの家庭学習を認めます）。

○ただし、その他の児童生徒の感染が判明した場合や、感染が疑われる症状がある場合等、感染拡大が懸念される場合には、安全確保に必要な期間、登校を停止します。夜間に最初の感染者が判明する場合も多く、直ちにその他の児童生徒の健康状態把握が困難な場合には、翌朝に先ず体調の確認を行い、拡大が懸念されれば帰宅の上オンライン授業とします（※ 勤務等のご都合で帰宅が困難な児童生徒については、預かりを実施します）

○上記の方針は、学童保育を含む市立児童施設でも同様とします。幼稚園や保育所、学童保育では、小中学校の授業と比較して、子ども達の距離を保ち続けること、給食やおやつ時の黙食をはじめ困難です。健康面から支障のない児童のマスク着用や換気の徹底には努めますが、交友関係等から特に接触の度合いが高いと思われる児童については、濃厚接触者として通園通所を所要の期間お控えいただきます。

第6波のピークは収まったとは言え、新規感染者数は高止まりが続き、政府も再拡大による次の波に警戒を続けています。状況は常に流動的ですが、子ども達とご家庭の安全安心、健全な育成、ご家庭への影響を総合的に勘案して対応して参りますので、引き続きのご理解とご協力をお願いします。

2. 県内感染状況

本日（4月15日）、奈良県は県内457名、天理市内13名の新規感染者を発表しました。重症対応病床の占有率は、19%です。また、新たな死亡者は90代女性2名です。衷心よりお悔やみ申し上げます。

【4月15日付市内感染発表】

下記の13名の皆様です。心から御見舞い申し上げ、御快復をお祈りします。

90代男性、70代女性、50代男性、40代女性2名、20代女性、10代女性、10代男性3名、10歳未満女兒、10歳未満男児2名